

# GWのイベント

## ゴールデンウィーク自然観察会 「水鳥公園ガイドウォーク」

- 4月29日(水) 水鳥公園一周ウォーキング
- 5月2日(土) シギの観察
- 5月3日(日) 貝殻掘り
- 5月4日(月) 春の草花観察
- 5月6日(水) 公園一周ゴミ調べ



時間：10:00～12:00

対象：申し込み不要・どなたでも参加できます。

参加費：入館料が必要です。

集合：水鳥公園ネイチャーセンター

## ゴールデンウィーク手作り自然教室 「テントウムシの缶バッジを作ろう！」 4月29日(水)～5月6日(水)

対象：申し込み不要。開館時間中いつでも作れます。  
材料費：バッジ1個につき100円  
会場：水鳥公園ネイチャーセンター 観察ホール



## こどもの日手作り自然教室「紙で鳥のパズルを作ろう！」 5月5日(火)10:00～12:00

対象：小学生以上対象先着20名。要申し込み  
材料費：100円。筆記用具・はさみ・絵の具持参  
会場：水鳥公園ネイチャーセンター 会議室



所在地 〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田665 TEL:0859-24-6139 FAX:0859-24-6140

ホームページ <http://www.yonagomizudorikouen.or.jp/> ブログも公開中。是非みてね!

開園時間：4月～10月 9:00～17:30

11月～3月 8:30～17:30(土・日・祝日は、7:00から開園)

入館料：高校生以上70歳未満：一人300円 中学生以下、70歳以上：無料

休園日：毎週火曜日および祭日の翌日(土曜、日曜を除く) 4月30日(木)は休館日です!



# 水鳥公園だより

2009年4月号(第152号)

## 4月のみどころ ～アカアシシギ～



(全長:28cm) 環境省レッドリスト絶滅危惧類(VU)

中国東北部で繁殖し、東南アジアで越冬します。米子水鳥公園には、渡りの季節である春と秋に数羽が飛来します。名前のとおり鮮やかな朱色の足が特徴で、翼を広げると幅広の白い帯があります。ネイチャーセンター正面の浅瀬で、いそがしくゴカイを探している様子が面白い鳥です。

# 今月のNEWS

## 子どもラムサールクラブ'2009 参加者募集中!

米子水鳥公園を中心に身近な自然に触れて、四季を通じて自然の面白さ、大切さを体験する人気企画です。2008年度の活動レポートがネイチャーセンターに掲示してありますので、是非ご覧下さい!

募集要項(詳しくはチラシを見てね!)

- ・ 対象:小学生(毎月参加できる子)
- ・ 定員:先着20名(空席残りわずか!)
- ・ 初回費用:水辺の野鳥図鑑代550円

初回は、4月12日(日)10:00~12:00で、  
テーマは「水鳥公園の秘密の場所を探検!」。  
集合場所は、米子水鳥公園ネイチャーセンター会議室です!



## 豊岡 KODOMO ラムサール交流会に 子ども達を派遣しました!

この度、2月21日(土)~22日(日)に兵庫県豊岡市で開催された「豊岡 KODOMO ラムサール交流会」に招待され、中海で活動する小学生7名と一緒に参加してきました。

この交流会は、昨年11月、韓国の第10回ラムサール条約締約国会議に合わせて行われた「KODOMOラムサールin韓国」に参加した鳥取県中海・滋賀県琵琶湖・豊岡の子どもたちが再会し、交流を深めるとともに、日本で既にラムサール条約登録湿地となっている中海と琵琶湖の現状と取組みについて情報交換を行い、条約湿地登録に向けたネットワークの形成を目的としています。

この中で驚いたのは、豊岡市の戸島湿地で去年巣立った三匹の兄弟コウノトリが、一羽は豊岡、一羽は中海・宍道湖、そしてもう一羽が琵琶湖に飛んで行った、ということでした。韓国で会った友達は、実はみんなコウノトリでつながっていたのですね。ちょっとした奇跡です。

でも、この奇跡は半世紀にわたる豊岡の町の人たちの膨大な努力の結果! 豊岡でのいろんな活動を見て、「米子でもやってみよう!」と、帰りの道中に子どもたちと話し合いました。

## 「水鳥公園ブログ」より



2009年3月2日の記事



### 「シロハラが食べていた変なもの」

ネイチャーセンターのすぐそばには、いつもシロハラが1羽居ます。今日も同じところに居ましたが、ちょっと様子が変わりました。(画像)

頭を左右に激しく振って、しきりにくちばしを地面の草にこすり付けているのです。草でくちばしを拭いてきれいになっているのかな?(画像)

望遠鏡でよく見ると、何かを落としたりひろったりを繰り返しています。

シロハラがくわえているものがちらりと見えました。「これってまさか...」(画像)

シロハラがくわえていたものは「ナメクジ」でした!

週刊モーニングに連載中の「とりばん」という漫画には、「なぜ鳥はナメクジをたべないのか」という記述がありましたが、ナメクジを食べる鳥もいるのですね。私は初めて見ました。くちばしを草で拭いていたのは、ナメクジのぬめり取りをしていたのかもかもしれません。

他にも、このシロハラはイモムシも拾って食べていました。冬の冷たい風が吹く中で、動物タンパク摂取に熱心なシロハラくんでした。(画像)

Check it out YO!! <http://nakaumi.blogspot.com/>

## 2009年2月14日~2009年3月9日に見つかった野鳥

カイツブリ、ハジカイツブリ、カウ、ダイサギ、コサギ、アサギ、マガ、コハクチョウ、オオハクチョウ、コハクチョウ(亜種アメリカコハクチョウ含む)、ツクシガモ、マガモ、カガモ、コガモ、トモエガモ、オカサガモ、ヒドリガモ、オガガモ、ハジロガモ、ホシヅメ、メジロガモ、キクハシ、ミコアイサ、ミサコ、ヒ、オオカ、ノリ、ハイロチュウ、チュウ、ハヤサ、クイナ、バン、オバン、ハマシ、ツバシ、アカアシシギ、イシギ、タシギ、セグロカ、カ、キバト、トラフズク、カセミ、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、ズ、ジョウビ、シハラ、ツグミ、ウグイス、ホシ、オジ、カラ、ハニヒ、ハニマシ、スズメ、ハシ、ハシ

計61種類 太字の鳥は、注目の鳥や珍しい鳥です。